

1. 安全基準等の整備及び浸透

● 安全基準等の改善状況調査

重要インフラの各分野で定めている「安全基準等」に関して、指針(第4版)への対応状況などの改善(改訂等)状況を調査を実施し、年度末にとりまとめ報告予定。

また、基準やガイドライン等の体系の明確化も実施予定。

● 安全基準等の浸透状況等調査

個々の重要インフラ事業者等における、指針及び安全基準等の浸透状況や対策状況を把握するための調査を実施しており、年度末にとりまとめ報告予定。

また、調査結果において事業者の規模による取組状況の差異を明らかにするため、集計方法の改良を実施。(裏面参照)

2. 情報共有体制の強化

● 官民の情報共有体制

第3次行動計画に定める情報共有体制に基づき、官民の情報共有を実施。年度末に情報共有件数を報告予定。

● セプターカウンスル

各分野の情報共有等を担うセプター、及びセプター間の情報共有等を行うセプターカウンスルについて、自主的な取組を支援。年度末に各セプターの状況をとりまとめ報告予定。

3. 障害対応体制の強化

● 分野横断的演習

全ての重要インフラ分野や政府機関及び関係機関が一同に会する分野横断的演習を本年12月に実施予定。

● セプター訓練

分野内の情報共有体制の疎通訓練として、分野ごとに現在実施中。訓練終了後、とりまとめて報告予定。

4. リスクマネジメント

- リスクマネジメントの支援の一環として、相互依存性の考え方を拡張し、重要インフラ事業者等の外部サービスへの依存性に関する調査を年度末までに実施予定。

5. 防護基盤の強化

- 講演等による広報広聴、日ASEAN政策会議やMeridian会合等の枠組みを活用した国際連携等の活動を実施中。

その他(個別施策以外)

● 補完調査

行動計画の個別施策では捉えられない側面を補完的に調査するもので今年度の実施方法について検討中。

(参考) 安全基準等の浸透状況調査における規模別集計の実施

安全基準等の浸透状況調査に関して、事業者の規模（従業員数）別でも集計を行い、対策における規模別の取組状況についても明らかにし、今後の重要インフラにおける施策立案の参考にする予定。

なお、下図は昨年度の調査結果のうち「PDCA別の取組状況」（年次報告P176上・中段）について規模別の状況を含めて可視化したもの。

対策の取組状況(第3次行動計画が示すPDCAにて分類)

